

世に自由行動を執ることとなり 河野重信氏

(元五重層) に交渉を要任した小女 河野氏は漢

言信のうを概す

従厚を同じ岩坑にあり城を考せし 近隣岩坑

其の他有志の奔走に 守り屋 結局一談條件と同

に 承 することとなり

尚 理 二台の坑又は全出之が仲裁に應せし飽迄是

儀を唱(其の人)は不足後金の請求方を福岡館

紙の巻に出発せり

是に横出係主任は予件発覚と同時に 佐世保区裁判所の 両側を

より度量衡園及び新橋派として裁物引せ